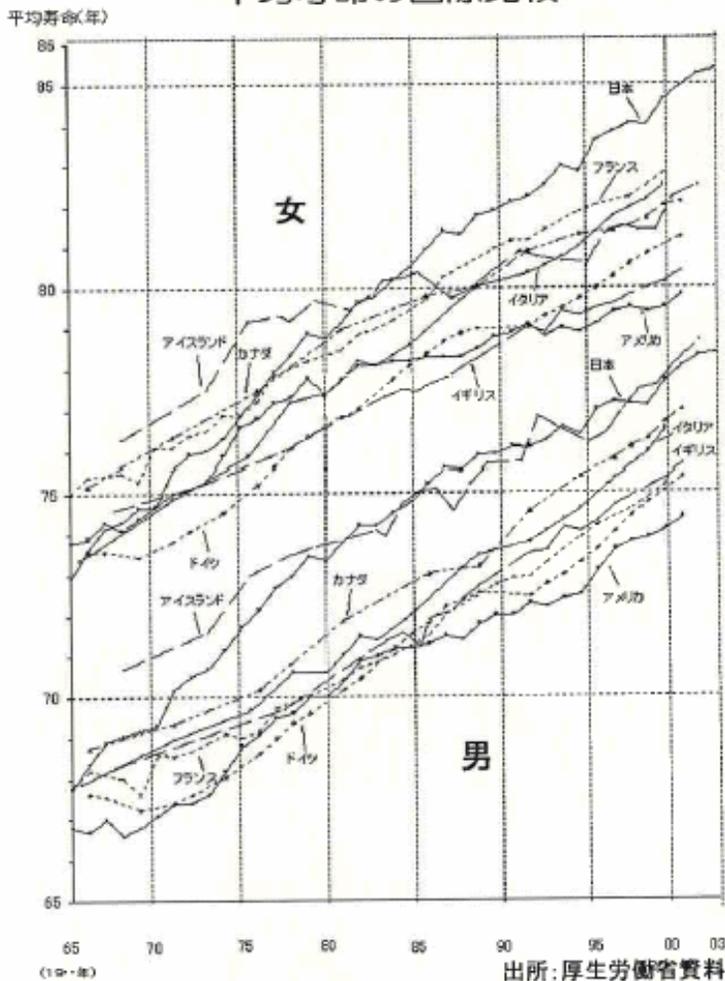


# 行政によるEBH推進の背景

世界一の長寿国で、増える生活習慣病

平均寿命の国際比較

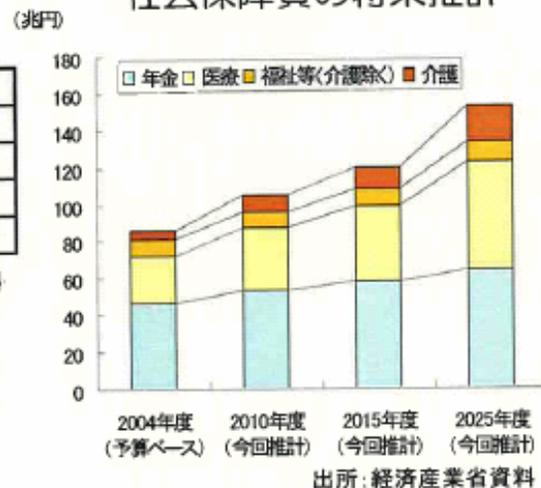


生活習慣病患者の推移

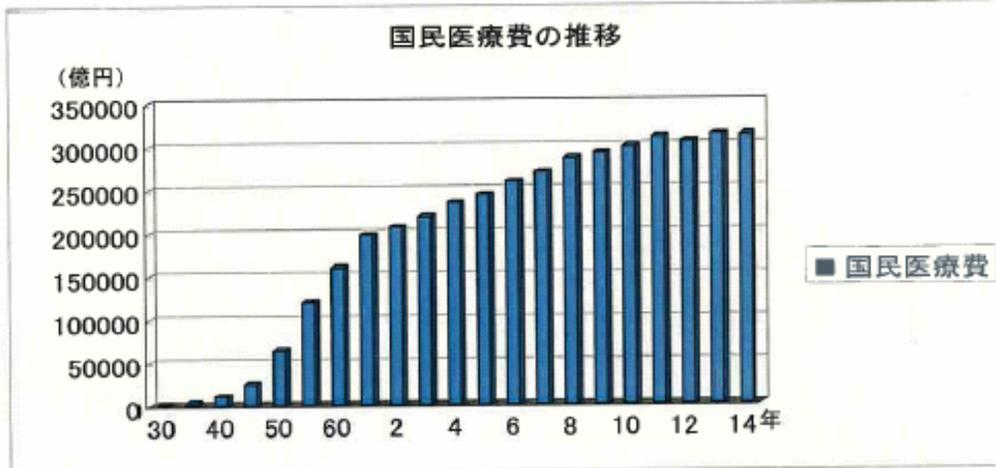
	1990年	1996年	比率
がん	751	1,363	1.8倍
心臓病	1,596	2,039	1.3倍
脳卒中	1,432	1,729	1.2倍
糖尿病	1,494	2,175	1.5倍

出所:厚生労働省資料

社会保障費の将来推計



国民医療費の推移



## 4. 健康サービス産業普及促進の方向性

新たなヘルスケア産業創出に向け、  
国庫予算で呼び水的な支援を行い、民間主導で自律的發展を促す

健康サービス産業創出支援事業

- ①事業戦略策定等の基本調査
- ②コーディネーター機能の強化、  
データベースの活用・構築  
について支援を実施

地域における先導的な取組の  
事業化に向けた初期投資を支援

特定非営利活動法人「健康サービス産業振興機構」

- ①調査研究、情報収集・提供
- ②技術基盤の整備  
[健康機器の互換性の確保など]
- ③健康サービスの評価・普及  
[ビジネスとしての信頼性の確保]
- ④人材の育成・活用  
[コンシェルジュ的な人材の育成など]
- ⑤国際的交流・連携

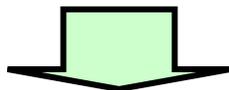
新たな健康サービス産業として、  
自律的發展の促進

事業化

# EBH住宅研究所の取組み



従来から、「ミルクリークは健康にいい」  
というお客様の評価  
24時間全館空調で喘息が治った  
天然の無垢材は心地よい etc .



Millcreekの優位性を科学的にアピール

更に、3つの健康でブラッシュアップ

**「からだの健康」**

家族が病気・怪我  
をしない住宅

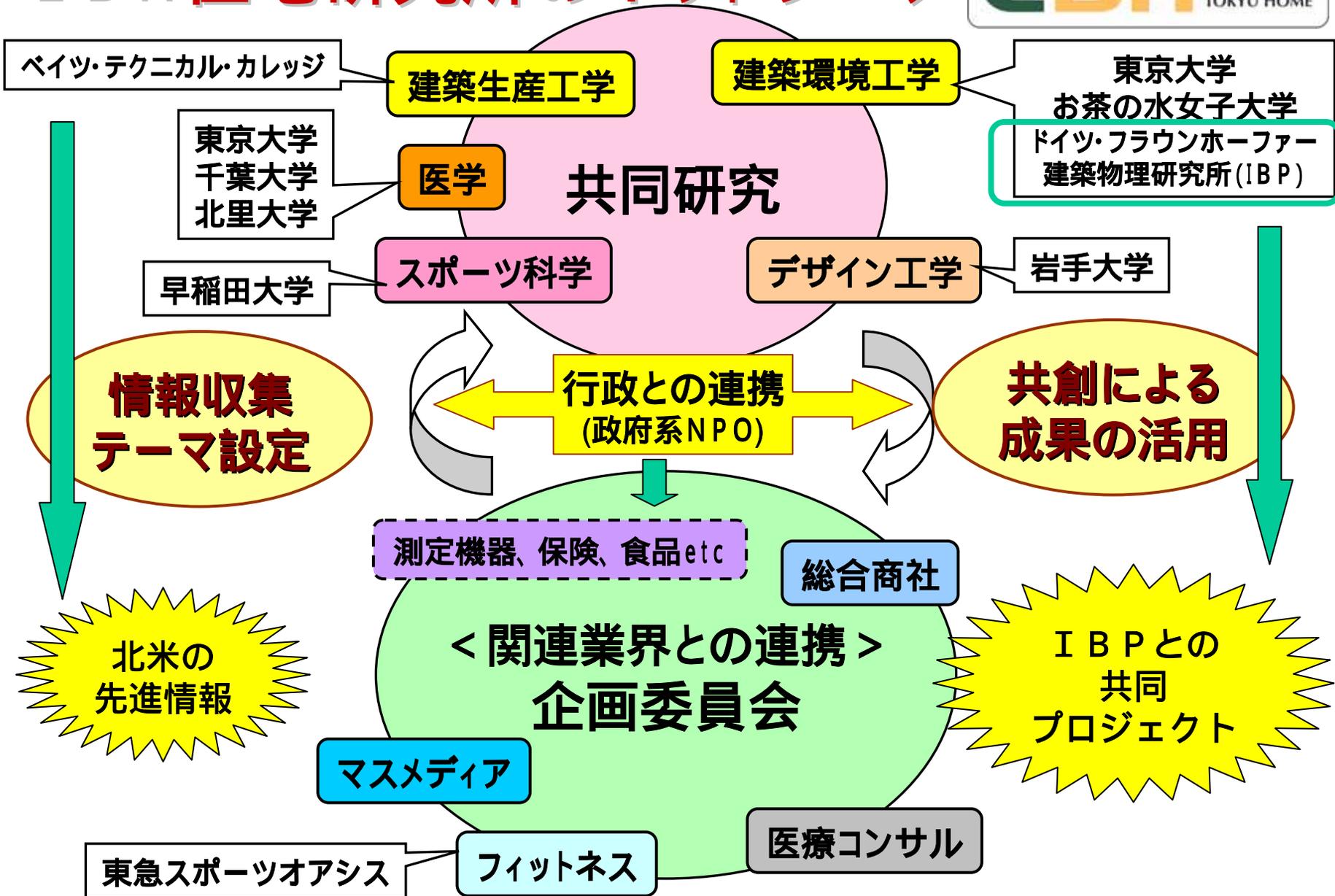
**「こころの健康」**

家族がストレス  
なく楽しく安心  
して暮らせる住宅

**「すまいの健康」**

建物が長く良好に  
維持できる住宅

# E B H住宅研究所のネットワーク



ベイツ・テクニカル・カレッジ

建築生産工学

建築環境工学

東京大学  
お茶の水女子大学  
ドイツ・フラウンホーファー  
建築物理研究所 (IBP)

東京大学  
千葉大学  
北里大学

医学

共同研究

デザイン工学

岩手大学

早稲田大学

スポーツ科学

行政との連携  
(政府系NPO)

共創による  
成果の活用

情報収集  
テーマ設定

測定機器、保険、食品etc

総合商社

< 関連業界との連携 >  
企画委員会

北米の  
先進情報

IBPとの  
共同  
プロジェクト

マスメディア

東急スポーツオアシス

フィットネス

医療コンサル

# ヨーロッパ最大の応用技術研究機関 ドイツの『フラウンホーファー研究機構』と業務提携

お茶の水女子大学・田中辰明先生の紹介で、  
ドイツのフラウンホーファー建築物理研究所（IBP）を訪問・協議

ドイツには健康・エコロジーの  
先進的な取組みが有る



2005 / 2006  
Deutschland in Japan  
日本におけるドイツ

東急ホームとIBPの業務提携により  
共同プロジェクトを推進  
【ドイツ型健康住宅モデルを建設・提案】

2005年4月～2006年3月  
日本における【ドイツ年】

2005年6月2日  
フラウンホーファー研究機構と  
業務提携契約を締結



# 背景ードイツ住宅市場の概要

木構造はプレファブ化  
パネル構法が主体

木造一戸建のシェアは低いが、増加傾向  
環境・健康の視点で推進  
壁厚 = 140 ~ 160mmが主流  
複合断熱システム & 透湿シートが普及

省エネルギーを  
国策として積極推進

数年毎にレベルアップ  
ガイドラインで誘導 数年後に基準化  
エコロジーも積極推奨  
環境負荷が少なく健康に良い自然素材  
太陽光発電、雨水リサイクル

